

富岡西4連覇

第58回
県高校総体



女子団体を制した富岡西の選手。小松島高体育館（山田旬撮影）

新体操

（小松島高ほか）
【男子】個人総合①新田宏明27

・65点（クラブ14・45点）スティ③岡田12・50点▽スティック①藤ツク13・20点②藤川27・30点③川興大13・30点④新田13・20点⑤岡田25・40点▽種別 クラブ①岡田12・90点▽所属はいずれも小松島
新田宏明14・45点②藤川14・00点 松島

団体は男女とも鳴門1校の出場で両校の優勝が決まった。サッカー男子は1回戦6試合があり、ベスト16が出そろった。テニスは男女の個人戦が行われ、ダブルスがベスト8、シングルスはベスト32が決まった。

山脇 山脇 山脇 山脇 山脇
60点（構成11・10、実施7・50）②生光学園16・35点③徳島市立9・95点
▽個人総合①松坂玲奈（富岡西）34・50点②フープ17・85点③山脇（富岡西）25
15点④大和（小松島）25・05点
▽種別 フープ①松坂玲奈（富岡西）17・85点②豊木（生光学園）13・35点③大和（生光学園）13・35点④大和（生光学園）13・35点

体操

（徳島市立操セナー）
【男子】団体総合①鳴門（木潮崎、藤井）201・30点
▽個人総合①種見成（小松島）72・65点（床運動12・50、あん馬12・45、つり輪12・00、跳馬12・45、平行棒11・30、鉄棒11・95）
12・40点③山脇（富岡西）12・05点
（鳴門）68・00点▽種別 床運動①潮崎拓也（鳴門）12・95点②種（小松島）12・50点③木田（鳴門）11・80点 藤井（鳴門）11・80点
80点▽あん馬①種見成（小松島）12・45点②木田（鳴門）12・40点③藤井（鳴門）11・30点▽つり輪①藤井貴章（鳴門）12・10点②種（小松島）12・00点③木田（鳴門）10・90点④跳馬①木田圭祐（鳴門）12・60点②種（小松島）

仲間を信じ大技成功

躍動感あふれる演技と高難度の技で貫禄を見せた新体操女子団体の富岡西。全国高校総体（インターハイ）への通過点と捉えて臨んだ県総体を目標通り4連覇で通過し、選手たちはほっとした表情を浮かべた。

団体戦はフープを使って行われた。富岡西はフロアを広く使うダイナミックな演技を披露。中盤、四つのフープを同時に他の4人に投げる大技を成功させた松坂主将は「中学時代から練習している技。仲間を信じ、自信を持って投げた」と胸を張った。

3年生2人に1、2年生3人が加わり、4月に新チームとして始動。経験が少ない選手もおり、当初は5人の息がうまく合わなかった。5月初めの2泊3日の合宿では、2分半の演技を50本こなすなど猛練習で結束を固めた。苦勞の末につかんだ栄冠に、この日18歳の誕生日を迎えた山脇は「最高のプレゼントになった」と喜んだ。

昨年のインターハイは入賞一步手前の9位に終わった。その悔しさを忘れていない松坂主将は「一人一人がもう一段レベルアップし、ミスのない演技をしたい」と口元を引き締めた。